



国際学級1期生の卒業

校長 羽田野庸史

朝や夜の寒さは身にしみるものの、陽だまりの暖かさに春の訪れを感じます。平成29年度も最後の月を迎えました。

この3月に卒業を迎える6年生は、平成24年4月に国際学級1期生として入学式を迎えた子供たちです。1年生時には40名1クラスで始まりましたが、2年生に進級するときに、東町小では、久しぶりの1学年2クラスとなりました。この子供たちが4年生の時、「暗号クラブ」の作者ペニー・ワナーさんに講演をしていただく機会に恵まれましたが、国際学級1期生だけあって、英語での講演にも関わらず、ほとんど通訳の必要がなく、驚きました。その6年生も54名の仲間とともに東町小を巣立つ日を迎えようとしています。

今年の6年生と話をしていると、子供たちが「この学年は、明るい子が多くて…」とか、「この学年は、男女とも仲がよくて…」といったように、「この学年は」という言葉をよく使うことに気がきます。2年生から2クラスになりましたが、学年意識の強い子供たちでした。国際学級として新しい東町小の扉を開いた子供たちでしたが、小規模校だった時の東町小の「みんながファミリー」の精神も大切に先輩たちから確実に引き継いでいました。

東町小では、3年前から6年生が卒業に向けて作るオリジナルソングがあり、今年は、「RAINBOW」という曲を作りました。その一節に次のような歌詞があります。

♪口ぐせ 仕草 服装 好みも

それぞれが抱く夢も 違うから素敵なんだね。

(中 略)

君には君がもつ光を ぼくにはぼくがもつ光を

みんな違う色を持っていて 一つもかけちゃいけない

そうさ ぼくらは 明日にかかる RAINBOW ♪

この歌は、国際学級でいろいろな友達が集いながらも、学年としての意識を忘れずに一致団結していたまさに6年生の姿を表しています。

3月2日(金)には、6年生を送る会が行われます。1年生から5年生がこれまでの感謝の気持ちを込めて、6年生に歌を歌ったり言葉を贈ったりします。そして、6年生もこれが在校生全員にみせる最後の晴れ姿です。この時に「RAINBOW」が初お披露目されます。そして、22日(木)が卒業式です。5年生が在校生代表として出席します。国際学級1期生として一致団結していた6年生の最後の雄姿をしっかりと心に刻み、東町小の伝統を受け継いでいってけるに違いありません。

最後になりましたが、一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

3月 行事予定

日	曜	行 事 等	放課後遊び
1	木	安全指導 クラブ発表(アンサンブル)中休み	4～6
2	金	6年生を送る会 保護者会(456年)	なし
3	土	日本文化の時間	なし
4	日		
5	月	クラブ活動	4～6
6	火	保護者会(123年)	なし
7	水	ありがとうの会(6年)	なし
8	木	児童集会 地域清掃(25年)	4～6
9	金		2～6
10	土		
11	日		
12	月		4～6
13	火	図書ボランティア読み聞かせ(1・2年)	3～6
14	水		なし
15	木	音楽朝会	4～6
16	金		2～6
17	土		
18	日		
19	月		4～6
20	火	卒業式予行 給食終 大掃除	なし
21	水	春分の日	
22	木	卒業式	なし
23	金	修了式	なし
24	土		
25	日		
26	月	春季休業日始	
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土	※3月中に予告なしの避難訓練を行います。	

3月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜

一年間のまとめをしよう

『一日一字を記さば一年にして三百六十字を得、一夜一時を怠らば、百歳の間三万六千時を失う。(1日1字を覚えれば1年間で3600字を身に付けられ、1日1時間、怠れば100年で36000時間失うことになる。)』
—吉田松陰—

小さなことでも続ければそれは大きな力となり、わずかなことでも先延ばしすることで大きなものを失うことになる。信念に殉じ、短命に終わる吉田松陰は毎日の継続の重要性を弟子たちに説きました。自分自身を見つめ直し、時を大切にしていたからでしょう。私たちも一年間を振り返ったとき自身はどう成長し、また来年はどんな力を伸ばしたいのか新たな目標のために、一年間を振り返ってみましょう。

一致団結

6年1組担任 村松 静香

6年2組担任 黒川 洋

5年生になった頃、「高学年」としてどのような姿でいることが大切なのかを、子供たちとたくさん話した思い出があります。一番多く伝えたことは、「お互いが気持ちよく過ごすためにどうしたらいいかを考える」ことだったように思います。

子供たちが大きく成長したなと感じたのは、夏季学園です。初めての宿泊行事で、ずっと友達と一緒に生活。楽しいこともたくさんありますが、その分「気を遣う」ことの大切さを実感し、また実行することができました。そして、昨年度の卒業式。初めての練習は、決していい姿とは言えないものでした。しかし、一人一人の意識が変わったことで、見違えるほど立派になりました。また、6年生の卒業式の姿や言葉から多くのことをしっかりと学びました。

6年生になった4月。「最高学年」としての生活がスタートしました。1年生のお世話、委員会やクラブ活動、そしてファミリー活動。どれも責任を伴うものです。一人一人が、最高学年としてどのように行動するべきなのかをたくさん考えた時期だったように思います。そして、運動会と学芸会。運動会では、組体操に取り組みました。一人技、三人技、六人技、クラス技、学年技と様々な挑戦をしました。本番が近付いても、「なんとなくみんなでやっている感」が抜けきれず、私たち担任は「まとまっている感じが伝わらない。」と話をしました。「精一杯やっているのに、なんで？」と思った子も多くいました。しかし、そこであきらめずに、どうしたらいいのか、どうしたらさらに上を目指せるのかを話し合うことになりました。一人一人にできることを、クラスとしてできることを、学年としてできることを考えたあの時間が、今の子供たちの成長につながっているのだなと感じています。本番では、「今までで一番いい！」と言える組体操にすることができました。学芸会では、場面ごとに話し合いをしながら、お互いにアドバイスをしながら、台詞の言い方、台詞のない時の動きを練習しました。前日までうまくいかないことも多くありましたが、最後まで諦めずに努力することのできるこの学年の強さが、本番の成功へとつながっていたと思います。学校の代表として連合水泳記録会、連合運動会にも参加しました。男女関係なく、クラス関係なく、互いを応援できる姿は港区一です！！

クラス関係なく、男女関係なく、互いに助けたり、思い切り遊んだりする姿を見るたびに、この学年が2年間大切にしてきた「一致団結」の言葉が頭に浮かびます。

3月22日卒業式。54名の6年生が東町小学校を巣立ち、新しい世界への第一歩を踏み出す日。どんな1日になるか楽しみにしています。



やさしく 助け合って

1年1組担任 鹿島 直子

1年2組担任 妻鹿 結美

子供たちの初めての出会いとなった4月6日の入学式。校庭には桜の花が咲き、小学校生活のスタートにふさわしい一日でした。これから始まる小学校生活にドキドキしながら教室の椅子に座っている子供たちの姿を見て、私たち担任は「子供たちにとって学校が楽しい場所になるように！」と決意を新たにしました。

入学してすぐに給食も始まりました。最初は牛乳だけで給食の練習をしましたが、少しずつ自分の食べられる量もわかってきて、苦手なものにも挑戦できるようになりました。掃除の時間には、6年生にほうきの使い方や机の運び方を教えてもらい、今では隅々までできばきと清掃することもできます。

行事も多くありました。春の運動会では、徒競走、玉入れ、ダンスとたくさんの参加種目がある中で、一つ一つしっかりと覚えようと努力する子供たちの姿に成長を感じました。学芸会では、舞台に立ち、大きな声で堂々と演じる姿に成長を感じるだけではなく、感動で胸がいっぱいになったのは保護者の方と同じだったのではないのでしょうか。

一年を振り返ると、子供たちができるようになったことはたくさんあります。鉛筆を正しい持ち方で持ち書けるようになったこと。文字を大きく丁寧に書けるようになったこと。苦手なことに挑戦すること。忘れずに植物に水やりをすること。そんな些細なこと、と思われるかもしれませんが、1年生にとってはとても大きな、そしてとても大切な成長です。3月が終わる頃、ご家庭でもこの1年の成長を振り返り、たくさん褒めてあげてください。子供たちは本当によく頑張りました。

1年生73名がこれからも優しさ・助け合いを大切に、心も体も大きく成長していくことを願っています。

